

合同学術総会

第16回化学生物総合管理学会 第13回社会技術革新学会

知の市場 協賛

日時：2019年9月12日（木） 12:30～17:30

会場：放送大学東京文京学習センター 2階 第2講義室

東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅(出口1)より徒歩3分(東京都文京区大塚3-29-1)

会場アクセスは、<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/bunkyo/about/access.html> をご覧ください。

《プログラム概要》

今回の学術総会では、将来に向かって人々の生活の糧を支えるイノベーションを実現するためには、技術革新、制度改革、人材改新そして社会変革が必須であるとの基本認識のもとに、こうした諸々のイノベーションを方向付ける科学的知見の進展や科学的方法論の有り様を具体的な事例を基に紹介し、イノベーションを取り巻く日本の現状を俯瞰的に検証するとともに、付加価値を生み出す国際競争力を維持し向上させる上で必要な日本のイノベーションを巡る課題の解決方法を探る。プログラム詳細は次ページを参照ください。

講演1 遺伝子の進化生物学からみた人の病気

神田尚俊 東京農工大学名誉教授

講演2 科学と化学物質管理のはざまで—BPAとともに—

荒柴伸正 ビスフェノールA安全性研究会 執行役事務局長

一般発表 技術士試験問題から発想した持続可能な都市のための都市計画

石川 弘毅 化学生物総合管理学会 正会員

《参加方法》

★参加資格:学会の会員以外の方の参加も大歓迎です。

★参加登録:事前登録制です。参加希望の方は、①参加者氏名(フリガナ)、②所属(勤務先等)、③懇親意見交換会への参加の有無の3点を明記のうえ、9月5日までにE-mail (kagakus * cbims.net) 宛てにお申し込み下さい。
なお、定員に達し次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください。

★参加費・懇親意見交換会費:

学会員の方:参加は無料です。懇親意見交換会費は実費を現地にて徴収します。

非会員の方:参加費は1,000円です。以下の口座に、9月5日までに振込み下さい。この期日までに振り込みが確認できなかった場合には、参加登録は自動的に取り消しになります。懇親意見交換会費は実費を現地にて徴収します。

みずほ銀行飯田橋支店,普通口座 2329303,口座名 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

※1 振込の際は、必ず参加者カナ氏名を振込み人名義として下さい。振込手数料はご負担下さい。

※2 出欠にかかわらず、一度振り込まれた参加費の返金はいりませんので、予めご了承ください。

※3 領収書は発行いたしませんので、振込時のご利用明細票をご活用ください。

★参加証:振込の確認ができたのち、開催当日の2日前(9月10日)までに、登録いただいたメールアドレス宛てにメールにてお送りいたします。参加証は構内入構に必要ですので、プリントアウトしてご持参下さい。

化学生物総合管理学会 社会技術革新学会

合同学術総会

第16回化学生物総合管理学会 第13回社会技術革新学会

知の市場 協賛

■ プログラム ■

将来に向かって人々の生活の糧を支えるイノベーションを実現するためには、技術開発や技術革新の達成のみでは不十分で、リスクの適切な管理を含めた取り組みが不可欠であるだけでなく、さらにこうした成果を社会に浸透させ社会変革に繋げていくために、人材改新や制度改革なども必須である。今回の学術総会では、こうした諸々の事柄に基礎を与えたとともにその向かう方向を誘導する科学的知見の急激な進展を進化生物学を事例にして紹介するとともに、科学的方法論と制度改革の多面的な係り合いを化学物質のリスク管理を事例にして紹介したり、持続可能な都市のあり様について論じることにより、イノベーションを取り巻く日本の現状を俯瞰的に検証しつつ、付加価値を生み出す国際競争力を維持し向上させる上で必要な日本のイノベーションを巡る課題の解決方法を探る。

2019年9月12日(木)

放送大学 東京文京学習センター 2階 第2講義室

時間		発表者(敬称略)・所属
12:30～12:40	開会挨拶	増田 優 化学生物総合管理学会会長 社会技術革新学会会長 知の市場会長
12:40～15:40	特別講演	
12:40～14:10	遺伝子の進化生物学からみた人の病氣 生物進化の原動力は遺伝子の変異である。変異は絶えず発生しており、分子遺伝学の進歩により、人の体質や遺伝性疾患も、進化の過程で起こったDNAの変異の産物であることが明らかになってきた。20世紀後半以降から現代に至る50年間の人の遺伝子研究を俯瞰して、進化生物学の観点から人の疾病の遺伝学的背景を考察し、生命科学の技術革新の成果を紹介する。	神田尚俊 東京農工大学名誉教授
14:10～15:40	科学と化学物質管理のはざままで—BPAとともに— 1996年3月に米国でTheo Colborn著の「Our Stolen Future」が出版されると、日本では、放送メディアが「環境ホルモン」問題として大きく取り上げ、これを契機に、メディア・官・学・産・市民を巻き込む大きな社会問題へと拡散していった。それから約20年余りが経過した今、科学に基づく化学物質管理とは何かを、筆者が見てきた事実から改めて総括する。	荒柴伸正 ビスフェノールA安全性研究会 執行役事務局長
15:40～17:00	一般発表	
15:40～17:00	技術士試験問題から発想した持続可能な都市のための都市計画 我が国において環境負荷の小さな都市を実現するために、環境負荷の小さな都市を目指すこととなった環境面での課題を挙げながら課題が生じた社会的背景を考察する。そして、課題解決のための都市政策上の技術的提案とその効果、及び生じうるリスクについて、その対処方法を含めて検討する。	石川 弘毅 化学生物総合管理学会 正会員
17:00～17:30	全体の質疑および総合討論	
17:30	閉会挨拶	
17:30～	懇親意見交換会(会費制)	

題名、発表順は都合により変更になる場合があります。

プログラム詳細は化学生物総合管理学会ホームページ (<http://www.cbims.net/>) または社会技術革新学会ホームページ (<http://s-innovation.org/>) からご参照下さい。